

令和5年度補正 品目団体輸出力強化緊急支援事業

香港におけるメロンのプロモーション 及び市場調査

静岡県温室農業協同組合
クラウンメロン支所

A:香港、メロン（クラウンメロン）

出張期間 2024年6月15日から18日

出張行程

月日	時間	場所	内容	備考
6/15（土）	午前 8:50	羽田 → 香港	出発	NH859便
	午後 12:30	香港空港	到着	
	午後	アピタ	クラウンメロンフェア（試食販売）	
	夜	油麻地フルーツマーケット	市場調査	
6/16（日）	終日	アピタ	クラウンメロンフェア（試食販売）	
6/17（月）	終日	香港市内	商談	
6/18（火）	午前	香港市内	商談、市場視察	
	午後 2:45	香港 → 羽田	出発	NH860便
	午後 8:00	羽田空港	帰国	

A:香港、メロン（クラウンメロン）

実施期間（2024年6月15日から18日）

- 1 クラウンメロンの販路拡大のための商談及び現地プロモーション
 - ・香港の日系スーパー「アピタ」において、父の日に合わせたクラウンメロンの販促を実施した。クラウンメロンの特価での販売と、マネキンによる試食宣伝を併せて実施し、父の日の週末2日間で25玉を販売した。
 - ・香港にてクラウンメロンを使用したケーキを販売している店舗を訪問し、状況の確認と、今後の取引拡大を見据えた商談を行った。



B:香港、メロン（クラウンメロン）

実施期間（2024年6月15日から18日）

2 香港での市場調査

- 香港でのクラウンメロンの流通については、大田市場等の日本の青果市場の仲買事業者を通じて香港の輸入業者が仕入れた上で、それを同輸入業者が香港内の卸業者やスーパー等に納めている。今回訪問した6月中旬は現地でもあまり大きな需要が無く、香港の景気があまり良くないこともあり、品目によっては日本から仕入れても全て売りさばくことが出来ず、在庫を抱えるケースもあるとのこと。
- クラウンメロンだけでなく、様々な日本産果物が香港の市場や小売店にて流通している様子ではあるが、香港の景気の悪化もあり、あまり売れ行きはよくないようであった。その中でも、クラウンメロンについては、確固たる需要があるとのこと、より差別化した、高級感を出した販売をしていきたいとの話があった。

写真上：
香港の輸入業者の倉庫にて保管されているクラウンメロンやその他の日本産青果物

写真下：
香港の油麻地フルーツマーケットの店頭に並ぶクラウンメロン



C:香港、メロン（クラウンメロン）

実施期間（2024年6月15日から18日）

3 香港事業総括

- ・台湾事業と同様に、本販促の実施においては、東京青果(株)、大田市場の仲買事業者及び現地のディストリビューターと連携し、市場流通を介した香港への輸出拡大を目指して実施した。クラウンメロンを既に知っているという客が多く、試食の反応も好評ではあったが、なかなか商品を手にするまでに至らないケースが多かった。
- ・香港市場は既にクラウンメロンが浸透している様子であり、昨今の香港の景気動向を見ても、今後、従来のやり方で輸出が大きく伸びることは難しいと考える。一方で、現地での認知度を活かした、上位等級の需要や、ケーキ等の加工品需要については、今後も拡大が期待できるため、こうした方面への販促を今後は積極的に仕掛けていきたい。